

小山久之助 （公録） 政論家、民権運動家。安政六年二月信濃國小諸生
れ、明治二十四年十月歿（八九一—九〇二）。號鰐齋。長じて山本杏園に
就き漢學を修む。維新後、加川松軒を教頭、私塾を開き、また小山
謙吾の化成學校を教へた。のち上京して政法學を修む。中江兆氏の佛
學塾に入りて、小島龍太郎、海井畦三郎と共に高弟の一人となつた。
救済行の雑誌『政理叢談』の編輯に加はり、『歐米政典集註』の翻譯
いに當る。その後大阪で創刊せられた『東京新聞』では、主筆兆氏、
幸徳秋水共々自由民権、國會開設の論陣を張つた。二十二年と憲法自由
黨發行の際に黨議員となる。